



Creating for the Future

いま、あたらしいことを。いつか、あたりまえになることへ。

2026年3月期 第2四半期 決算速報

2025年11月12日

SWCC株式会社

1. 2025年度第2四半期決算概要

2025年度 第2四半期連結業績 P/L

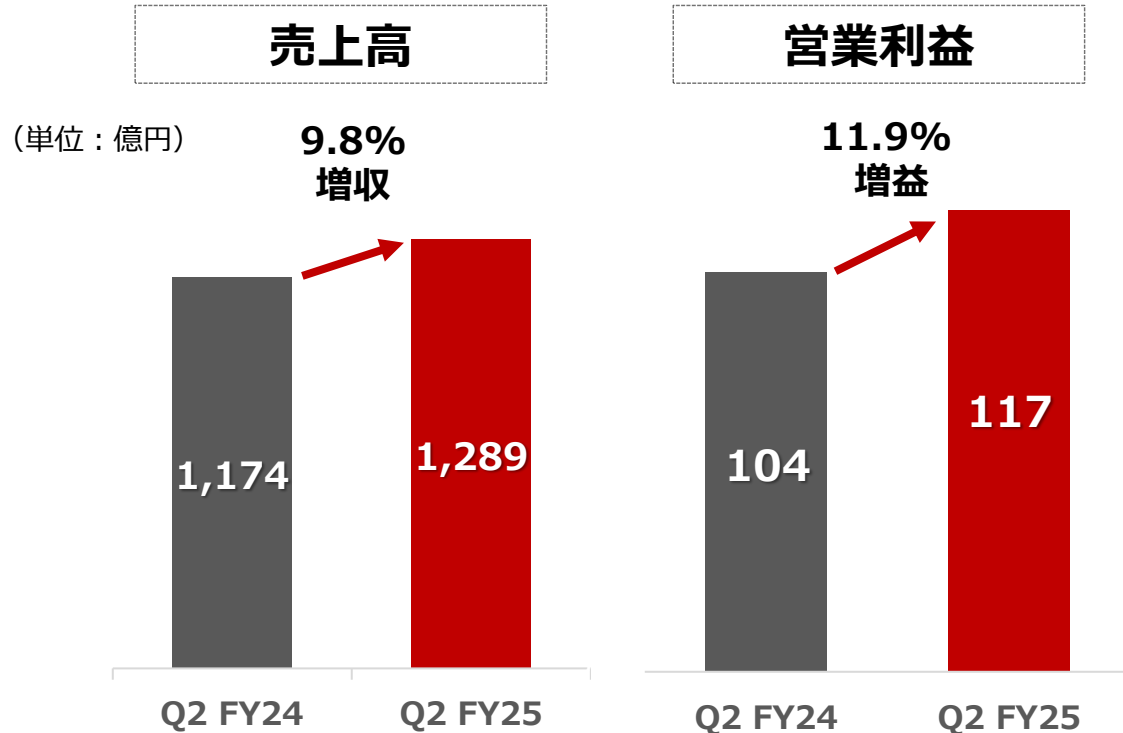
期初想定 of 建設関連の売上減少はQ2以降回復。電力インフラ事業の上期業績が想定を上回り好調なうえ、TOTOKUのPPA後のれん等償却費影響が期初想定内におさまリ、**通期計画を上方修正**。

(単位：億円)	Q2 FY24 実績	Q2 FY25 実績	YoY %	FY25 通期計画 (修正前)	進捗率 %	FY25 通期計画 (修正後) 期初 計画比
売上高	1,174	1,289	9.8%	2,600	49.6%	2,700
営業利益	104	117	11.9%	245	47.6%	260 6% Up!
営業利益率 %	8.9%	9.0%	—	9.4%	—	9.6%
経常利益	71	113	59.3%	235	48.1%	250
親会社株主に帰属 する中間純利益	36	73	104.1%	150	48.7%	160 7% Up!

2025年度 第2四半期決算のポイント

Q2 前年同四半期比

国内建設関連向け電線需要は減少も、**電力インフラ**ならびに**通信・モビリティ事業**の牽引により**増収増益**。



Q2 進捗率

上期好調を受け、通期計画を上方修正。**売上・利益**ともに、修正後計画比で例年を上回る進捗を確保。

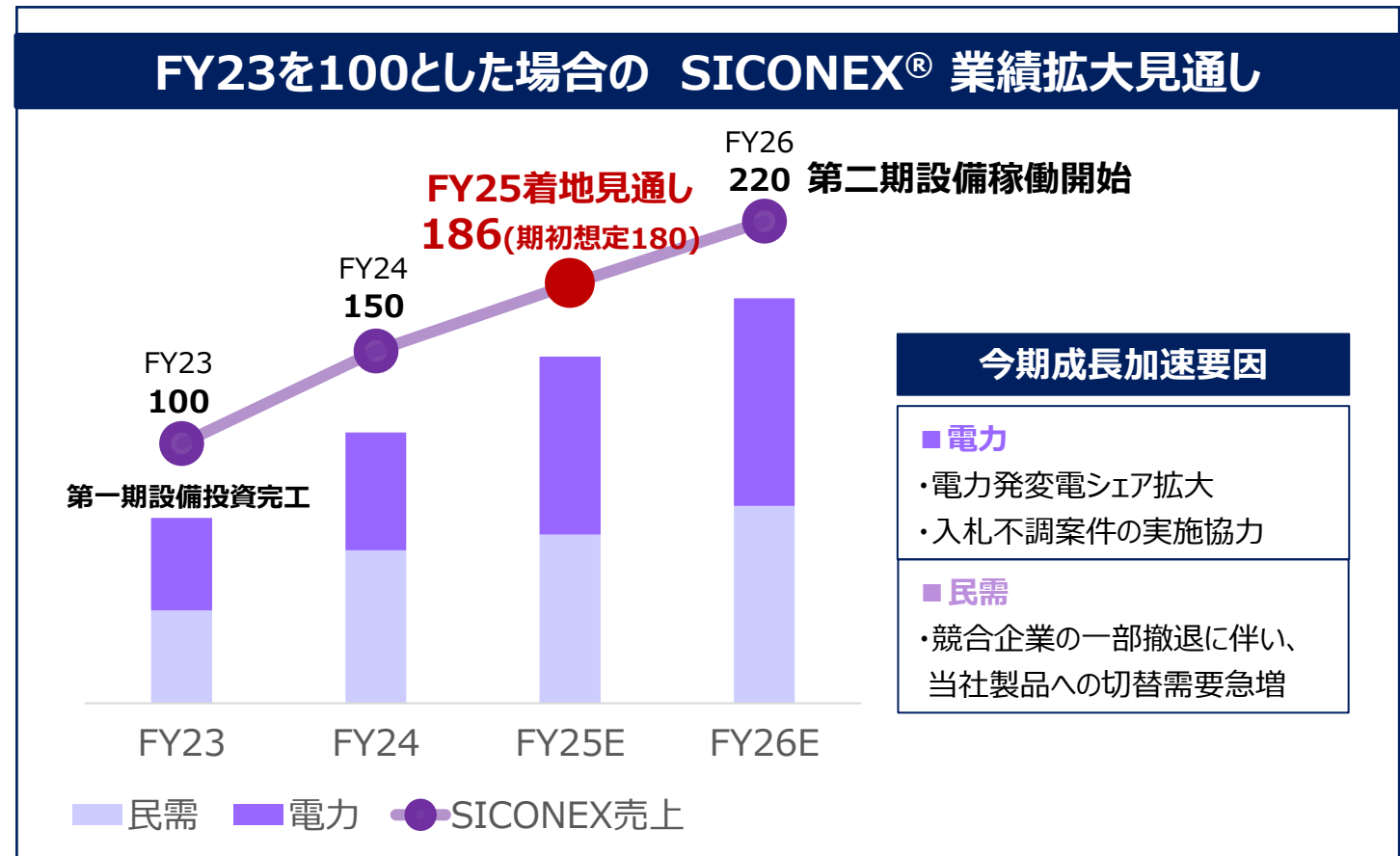
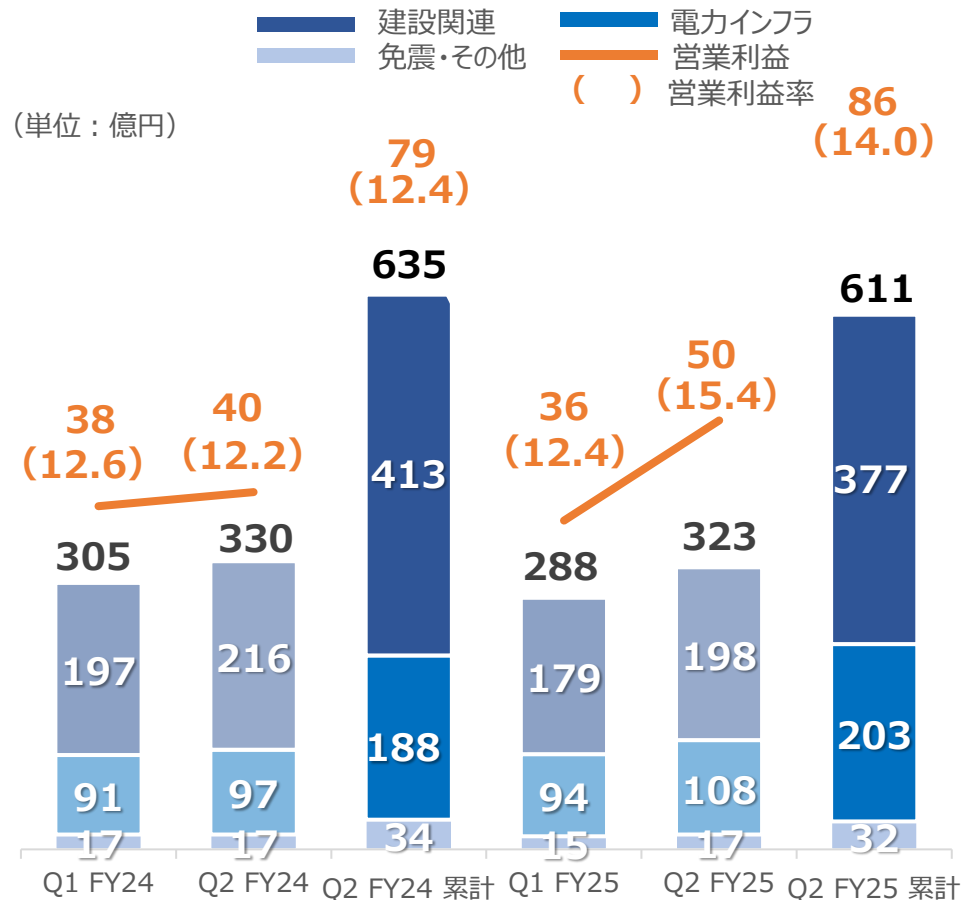
(単位：億円)	修正後 通期計画	FY20-24 平均進捗率	Q2 進捗率
売上高	<u>2,700</u>	47.3%	47.7%
営業利益	<u>260</u>	41.5%	44.8%

2025年度 第2四半期セグメント別業績 P/L

(単位：億円)		Q2 FY24 実績	Q2 FY25 実績	YoY %	FY25 通期計画 (修正前)	FY25 通期計画 (修正後)
エネルギー・インフラ事業	売上高	635	611	▲3.7%	1,240	1,300
	内、建設関連	413	377	▲8.6%	740	790
	内、電力インフラ	188	203	7.5%	430	444
	内、免震・その他	34	32	▲6.5%	70	66
	営業利益	79	86	8.5%	170	182
	営業利益率 %	12.4%	14.0%	—	13.7%	14.0%
通信・コンポーネッツ事業	売上高	507	645	27.3%	1,280	1,325
	内、通信ケーブル	139	157	12.8%	299	330
	内、モビリティ・半導体用	173	239	38.0%	493	490
	内、産業用	195	249	28.0%	488	505
	営業利益	25	31	20.3%	78	78
	営業利益率 %	5.0%	4.8%	—	6.1%	5.9%
	EBITDAマージン %	7.2%	8.7%	—	10.1%	9.8%

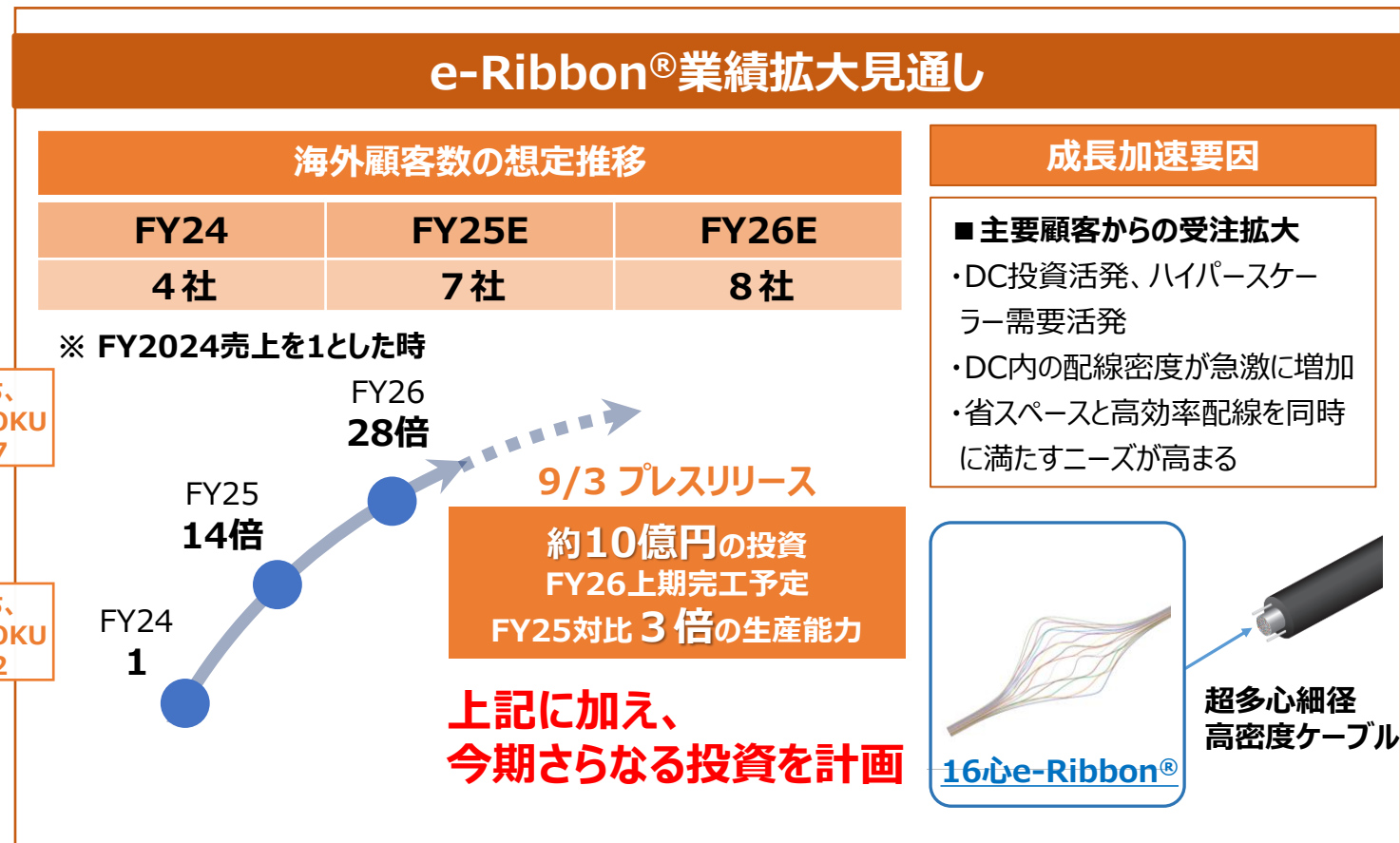
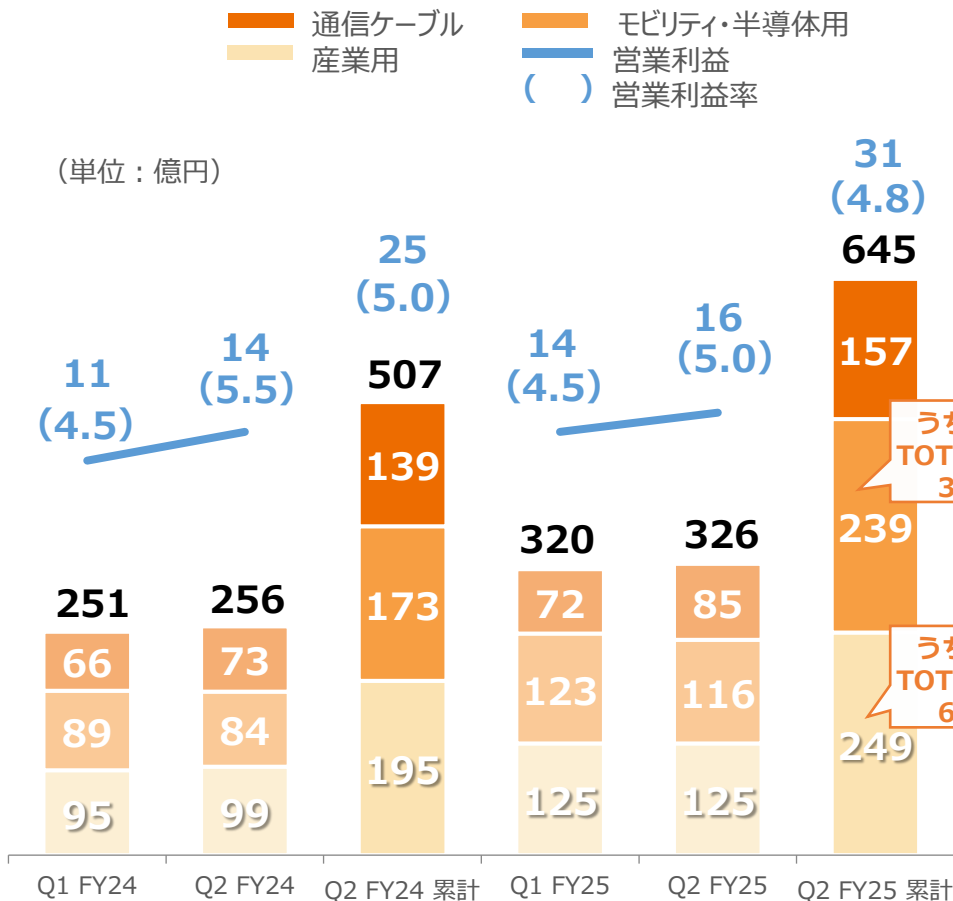
2025年度 第2四半期 セグメント業績 エネルギー・インフラ事業

国内建設関連向けは、Q1の落ち込みは、Q2で回復傾向。電力インフラについては、アルミ架空電線撤退による売上減少があるも、工事増と事業全体の付加価値向上により、**前年同四半期比減収（3.7%減）・増益（8.5%増）**。



2025年度 第2四半期 セグメント業績 通信・コンポーネンツ事業

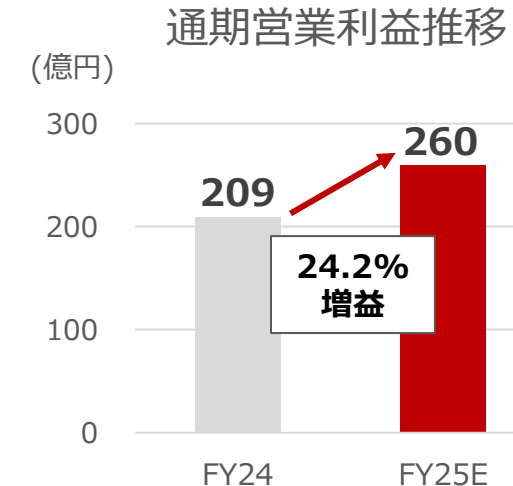
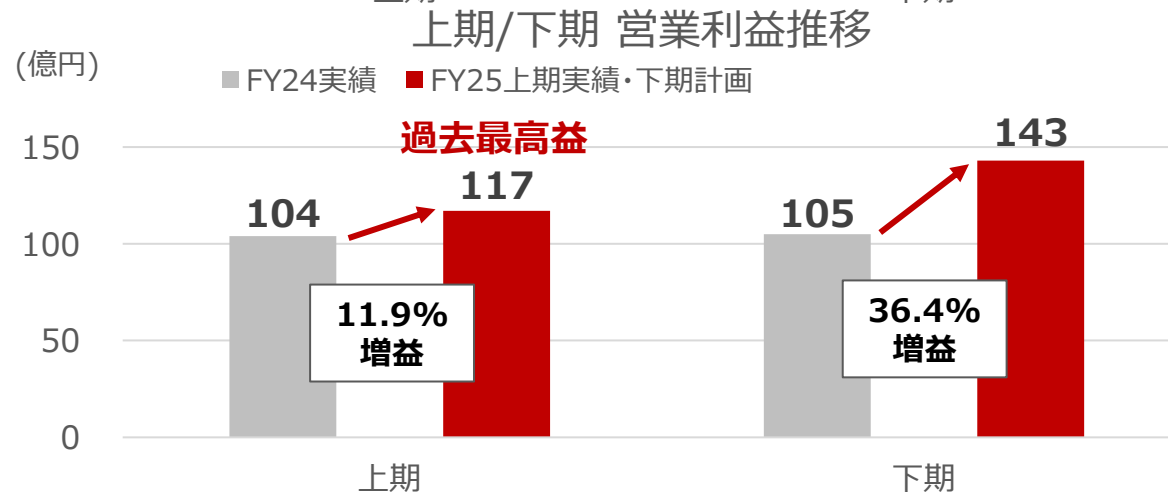
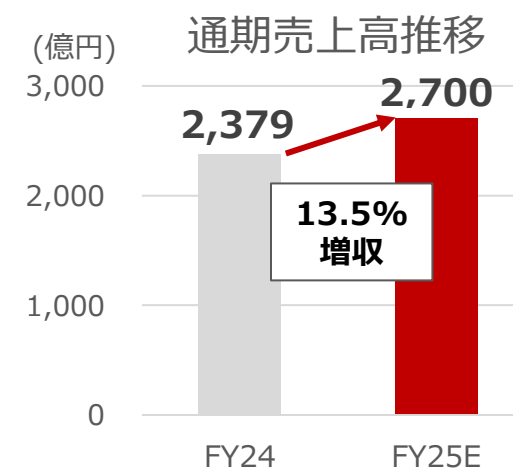
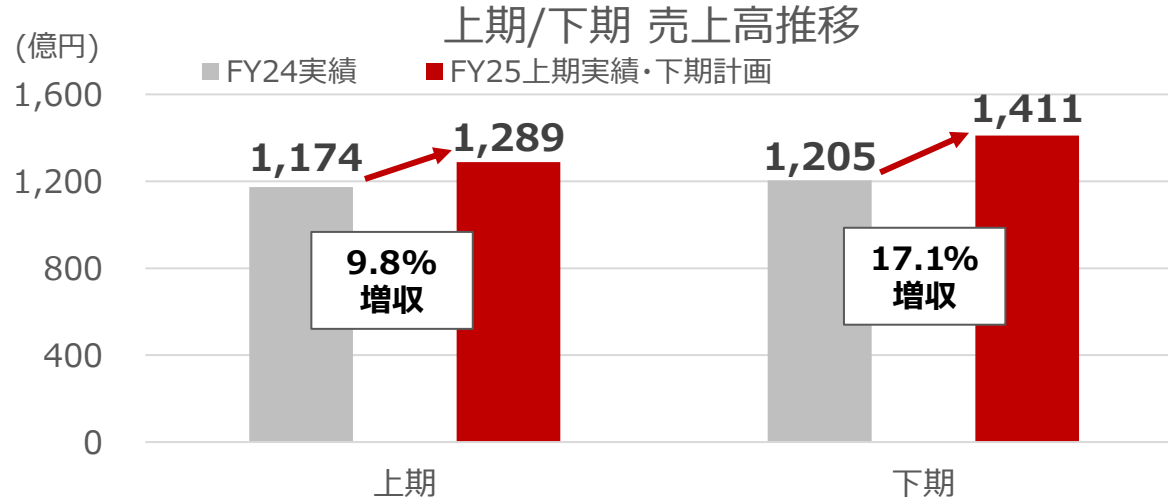
通信ケーブルが、期初想定以上に米国AIデータセンター向けe-Ribbon®好調。モビリティ向け好調に加え、TOTOKUのPPA後のれん等償却費も期初想定内、一方で、産業用は苦戦。**前年同四半期比増収（27.3%増）・増益（20.3%増）**。



2. 2025年度通期業績計画

2025年度 通期業績計画（上方修正後）

成長牽引事業好調と各種収益改善施策により**増収・増益を計画**。株主還元は**増配を予定**。



経常利益

250億円

(前年度対比121.8%増)

親会社株主に帰属する
当期純利益

160億円

(前年度対比40.3%増)

配当
配当性向 / DOE

200円

37.0 % / 6.3%

(前年度対比64円の増配)

中間:90円 (計画比10円増配)
 期末:110円 (計画比10円増配)
 合計 200円

2025年度 事業環境認識（上方修正後）

		上期	下期	通期
実績・計画	営業利益 (YoY)	117億円 (11.9%)	143億円 (36.4%)	260億円 (24.2%)
	営業利益率	9.0%	10.2%	9.6%
	配当	90円(計画比10円増配)		通期200円 (配当性向37.0%)
事業環境認識	建設	Q1の極端な落ち込みは、Q2で回復。	下期は、想定通りの出荷水準に回復。	
	電力	レベニューキャップ制度により電力会社向け需要安定 電力事業全体の付加価値向上により利益率拡大。	電力・民需ともに、旺盛な電力インフラ需要を背景にSICONEX® 増産およびデファクトスタンダード化によるシェアを拡大。	
	通信	e-Ribbon®北米AIデータセンター向け販売好調。 高グレードLANの需要拡大。	e-Ribbon®北米AIデータセンター向け、生産力増強によりシェア拡大。 高グレードLANの需要拡大継続。	
	自動車	国内自動車生産回復基調。xEV向け高機能製品 は欧州向け好調。シートヒータは計画どおり堅調。	xEV向け高機能製品好調継続も、シートヒータは、顧客の 在庫調整により弱含み。	
	半導体	最終顧客の在庫調整。	最終顧客の需要回復に加えて、中国市場向け販売拡大を見込む。	

セグメント別通期計画（上方修正後）

下期は建設関連の回復と電力インフラ・通信ケーブル・モビリティ・半導体事業の拡大を見込むほか、TOTOKUは下期偏重を想定。

(単位：億円)		FY25 上期実績	FY25 下期計画	FY25 通期計画 (修正後)	進捗率 %
エネルギー・インフラ事業	売上高	611	689	1,300	47.0%
	内、建設関連	377	413	790	47.7%
	内、電力インフラ	203	241	444	45.6%
	内、免震・その他	32	34	66	47.9%
	営業利益	86	96	182	47.0%
	営業利益率 %	14.0%	14.0%	14.0%	-
通信・コンポーネンツ事業	売上高	645	680	1,325	48.7%
	内、通信ケーブル	157	173	330	47.6%
	内、モビリティ・半導体用	239	251	490	48.7%
	内、産業用	249	256	505	49.4%
	営業利益	31	47	78	39.3%
	営業利益率 %	4.8%	7.0%	5.9%	-
	EBITDAマージン %	8.7%	10.7%	9.8%	-



SWCC株式会社

<https://www.swcc.co.jp>

本説明資料に記載されている将来の業績予測値は、公表時点で入手可能な情報に基づいており、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。
このため、実際の業績は、さまざまな要素により、記載された予測値と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
実際の業績に影響を与えうる要素としては、経済情勢、需要動向、原材料価格・為替の変動などが含まれます。
なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。